

平成 26 年度後期防災訓練概要

総務課・経営管理課

1. 日時

平成 26 年 12 月 18 日（木） 14 : 00～15:40（予定）

2. 場所

筑波大学附属病院

3. 参加者

筑波大学附属病院関係職員（委託事業者を含む）

4. 協力

つくば市消防本部、茨城県医療対策課（予定）、つくば市危機管理課（予定）

5. 目的

アクションカードに基づく初期対応訓練及び災害対策本部設置訓練等を継続して訓練すると共に模擬病棟での避難誘導訓練をとおり、患者対応や避難方法における問題点を検証する。
多数傷病者受入を想定し、トリアージエリアの設置訓練及びトリアージ診療の流れを確認する。

6. 訓練内容

大規模災害を想定した 4 つの訓練を実施。

①地震初期対応訓練【院内全体】

院内各部局により組織された地区隊による初期対応訓練。各地区隊独自に作成したアクションカード（災害時行動指針カード）に基づき安全確認、被害状況確認、災害対策本部への通報訓練等の訓練を行う。

②災害対策本部設置訓練【けやきプラザ】

院内状況の把握及び適切な指示を迅速に行うため、災害対策本部の設置訓練を実施。設置場所となる「けやきプラザ」への参集から、通信手段の確保、被害状況の集計、院内外との連絡を行う。また今回は多数傷病者受入を想定し、エアーテントの設置訓練も実施。

③避難誘導訓練【B 棟 10 階模擬病棟】

現在使用していない B 棟 10 階病棟を利用した、模擬病棟による避難誘導訓練。模擬病棟には同規模のスタッフ、模擬患者、車イスなどの備品等を設置、火災の発生を想定しけやき棟 10 階への避難誘導訓練を行う。

④トリアージ（多数傷病者受入）訓練【エントランスホール】

多数傷病者受入を想定し受け入れ態勢の準備、受入から搬送までの訓練。正面玄関へ運ばれてきた患者の重症度を判定するトリアージポストの設置及び重症度に応じた診療を行う各エリアの設置を行う。その後症状の記載された模擬患者（カード）をポストへ移送し、適切な重症度の判定及び各エリアへの搬送を行う。